

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和元年10月1日

事業所名：ひらい園 放課後等デイサービス

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1	5			広い空間を提供し、その中で社会適応訓練等で色々な活動ができるようにしている。	16				広々としたスペースで子供が伸び伸びと体を動かしたり色々な活動ができています。	
	2	3	2		利用人数の性別に差がある時に、同性介助の支援を充実させるように考えている。	14			2		
	3	3	2			14	1		1	玄関からの動線がバリアフリーでわかりやすい。	
	4	4	1			15	1			デイルームも明るく開放的で、職員さんの挨拶も気持ちが良い。	
業務改善	1	3	2		今年度の目標として、職員一人ひとりが支援に対して振り返りを行い、課題を見つけ次につなげられるように取り組んでいる。						
	2	4	1								
	3	4	1		できる限りの参加を計画するが、全員参加は難しいので定期的に内部研修を実施している。						
適切な支援の提供	1	5				16				子どもの特性を理解した支援計画になっている。	
	2	3	2			15			1	日々の活動で子供が興味を持ちそうな内容を工夫してくれている。	
	3	3	1	1							

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標			
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見		
適切な支援の提供 (続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	4	1			3	2		11		半年毎に支援計画を評価し見直ししているが、家族さんの意識が薄いので、今後時間をとり細かく説明をしていきたい。	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	4	1		職員の得意分野を生かした活動を立案し、利用者の状況等を見て反省を行い、次につながるような取り組みを行っている。							
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	4	1		すべてではないが、内容を若干変更する等は試している。	14	1		1	子供に寄り添い、きめ細かな支援をして頂きありがたいです。		
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	4	1		利用者の精神面のフォローを含めた大きな目標を計画し、職員全員で日々支援できるように連携を図っている。							
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	5			受け入れ前に再確認をして、利用者の安心・安全な支援ができる体制作りを行っている。							
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	4	1									
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	4	1		その日の様子、出来事は必ずだれが見てもわかるようにを基本として記録に残して、同じ事がおきないように課題や見直しを行っている。							
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	5										
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	3	2		対象児が女性の場合は、児発管に加え、もう一人同性のスタッフが参加できるようにしたい。(事前の話し合い等は行っている。)							
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	1		1	対象児いない。							

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携（続き）	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	1	1		対象児はいないが、利用者の通院状況等はその都度家族に確認して情報共有はしている。						
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	4	1		各関係先とは細かい事でも連絡をとりあい連携を図っている。						
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	4	1								
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	1	2	2							
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	5			外出先で一緒になった時には交流ができるように努力している。 特定の事業所等との交流は今後検討しても良いのではと考えている。(地域で)	3	2		11		
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	4		1							
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	5				16					
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	5				15	1			・送迎後に子供の様子を聞き、少しずつでも成長していると感じることがある。 ・細かく子供の状況を見て対応してくれていることがよくわかる。	
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施		3	2	家族に対する前に職員が利用者の特性をしっかりと理解し、障害特性を踏まえた褒め方を学ぶ必要があり、現在勉強中である。	10	3		3	普段の会話の中で褒めていいところ等教えてもらっています。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	5							学校との連携もとってくれるので助かります。		
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	2	3		それぞれ考え方や知識も異なるので、話すことが助言になっているのか不安になる時もあるが、話しかけてくる事は多いので相手の立場で聞く事は必ず行い、その都度アドバイスは行うようになっている。	14	1		1		
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	1	1	3	園での父母の会はない。同じ学校同士の場合は連携の橋渡しの事は行っている。	3	3	1	9	親同士会うことも少なくなり、限られた人との連絡はするが、それ以外は希薄になってきている。	
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	4	1			12				4	
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	5				14	1		1	その日の様子や体調等も詳しく教えて頂けるので安心できる。	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	4	1		会報・お便りは発行していないが、毎月の予定表は早めに提示をし、スムーズな連絡体制を整えている。	12	1	1	2		会報・お便りはないが、今後活動の様子等伝えられる通信の発行も考えていきたい。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	5				16					
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	4	1		園としてマニュアル化しているが、実際緊急の場面が見られないので周知という意識が薄く感じられているようだ。都度課題にして危機意識を持ってもらっている。	8		1	7	説明は受けたと思うが、自分に関係ないと思うとよくわからない。	それぞれのマニュアルを作成しているので、定期的に園から情報を発信していきたい。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	3	2			8	1		7		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の 対応 (続き)	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	4	1							
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	3	2	一人ひとりを尊重した支援を心掛けてはいるが、利用者の障害特性で誤解を受けそうな場面はあり、その都度説明をし理解を受けている。						
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	3		2	医師からの指示を家族から聞いて対応している。					
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	5			ヒヤッとした事も次につなげるため、いくつかの対応策を記入し、全員で情報を共有している。					